

応答制御建築物の今後の取組みに向けて — 東北地方太平洋沖地震での課題 —

日 時 : 2013年 2月 28日(木) 13時 ~ 17時 (12:20 受付開始)

会 場 : 工学院大学 新宿キャンパス 5階 「A-0542 教室」

※ 「高層棟」用エレベーターで5階にお越し下さい

住 所 : 東京都新宿区西新宿 1-24-2

定 員 : 250名 (2月21日締切、定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費(当日、受付にて徴収):

会員:3,000円、非会員:5,000円、 応答制御建築物調査委員会委員、学生:無料

主 催 : 一般社団法人日本免震構造協会 応答制御建築物調査委員会

共 催 : 一般社団法人日本建築構造技術者協会

※ JSCA建築構造士登録更新のための評価点

趣 旨

当協会では、一昨年3月に発生した東北地方太平洋沖地震に対し「応答制御建築物調査委員会」を設置し、免震・制振建築物に関する調査検討を行い、その調査結果を昨年1月に報告しました。その時の課題とその後の調査結果をまとめた報告会を開催します。これらについて討論し、今後の免震技術の進展に寄与できれば幸いです。

プログラム

司会: 応答制御建築物調査委員会 委員長 三菱地所設計 深澤 義和

時間割	内容・講師
13:00 ~ 13:05 (5分)	主催者挨拶 日本免震構造協会 会長 西川 孝夫
13:05 ~ 13:10 (5分)	免震構造設計部会 東京理科大学 北村 春幸
13:10 ~ 13:30 (20分)	アイソレータの小振幅試験結果 鹿島建設 竹中 康雄
13:30 ~ 14:00 (30分)	履歴系ダンパーの変状対策と残存疲労性能評価 熊谷組 荻野 伸行
14:00 ~ 14:10 (10分)	休憩
14:10 ~ 15:00 (50分)	免震エキスパンションジョイントガイドライン 清水建設 北村 佳久 鹿島建設 羽田 尚広
15:00 ~ 15:10 (10分)	休憩
15:10 ~ 15:25 (15分)	免震建物用けがき計の推奨 日建設計 山本 裕
15:25 ~ 15:45 (20分)	構造ヘルスマonitoringの考え方 慶應義塾大学 三田 彰
15:45 ~ 16:35 (50分)	先端構造物の応答記録分析 東京工業大学 笠井 和彦
16:35 ~ 17:00 (25分)	質疑
17:00	閉会